

不登校対策について

■令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

不登校（小中学校）

本県の国公立小中学校における不登校児童生徒数は1,238人であり、令和元年度と比較すると121人増加している。

1,000人当たりの不登校児童生徒数は25.2人であり、令和元年度と比較すると2.8ポイントの増加となった。

① 高知県の不登校児童生徒数【国公立学校】

(単位：人)

年度	小学校		中学校		合計	
	不登校児童数	1,000人当たりの不登校児童数	不登校生徒数	1,000人当たりの不登校生徒数	不登校児童生徒数	1,000人当たりの不登校児童生徒数
R1	334	10.3	783	45.3	1,117	22.4
R2	377	11.8	861	50.5	1,238	25.2
前年度比較	+43	+1.5	+78	+5.2	+121	+2.8

② 全国との比較（1,000人当たりの不登校児童生徒数）

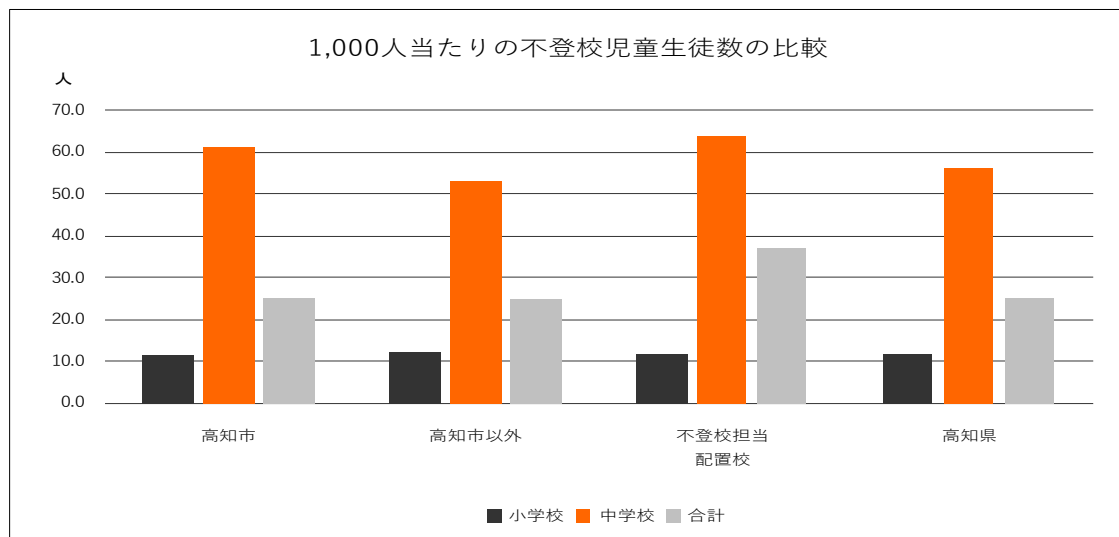
(単位：人)

年度	小学校		中学校		合計	
	高知県	全国	高知県	全国	高知県	全国
R1	10.3	8.3	45.3	39.4	22.4	18.8
R2	11.8	10.0	50.5	40.9	25.2	20.5
前年度比較	+1.5	+1.7	+5.2	+1.5	+2.8	+1.7

令和2年度 高知県生徒指導上の諸課題・児童虐待に関する調査結果（高知県公立小中学校）

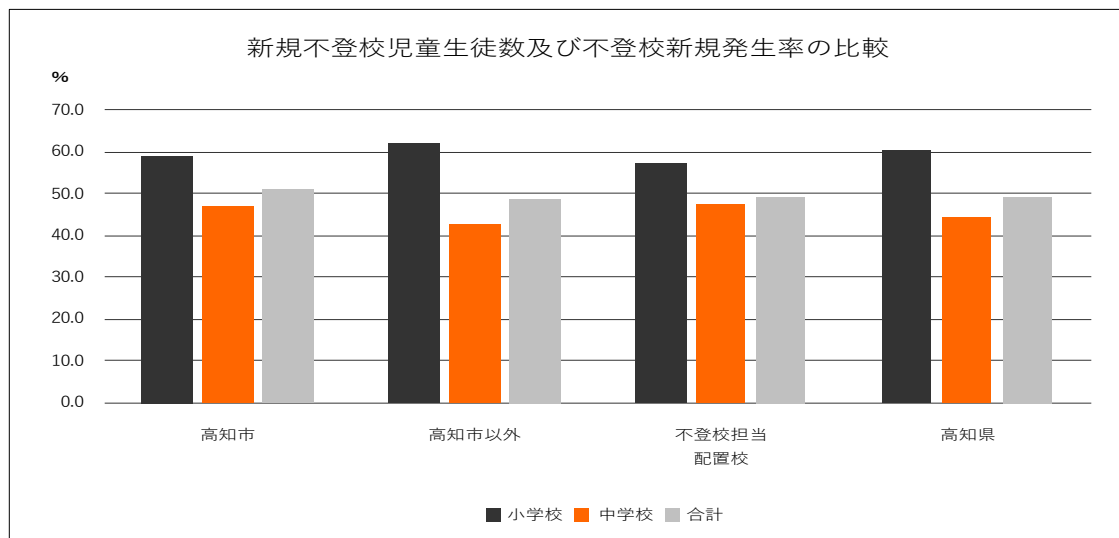
1. 1,000人当たりの不登校児童生徒数の比較

	高知市立	高知市以外 (県立含む)	不登校担当教員 配置校 (20校)	高知県	高知県 R元年度	
小学校	(人数)	178	190	56	368	324
	(1,000人当たり)	11.6	12.1	11.9	11.8	10.3
中学校	(人数)	356	412	288	768	690
	(1,000人当たり)	61.4	52.8	63.7	56.4	50.1
合計	(人数)	534	602	344	1136	1,014
	(1,000人当たり)	25.3	25.5	37.2	25.4	22.4



2. 新規不登校児童生徒数及び不登校新規発生率の比較

	高知市立	高知市以外 (県立含む)	不登校担当教員 配置校 (20校)	高知県	
小学校	(人数)	101	112	31	213
	(%)	59.1	61.9	57.4	60.5
中学校	(人数)	167	173	137	340
	(%)	46.9	42.0	47.6	44.3
合計	(人数)	268	285	168	553
	(%)	50.9	48.1	49.1	49.4



令和3年度 不登校担当教員配置校20校の状況（7月末速報値）

1 指定校20校別の不登校児童生徒数、不登校出現率及び対応状況（7月末現在）

		R3年7月末								R2年7月末							
学校名		10日以上欠席				授業日数	対応				10日以上欠席				授業日数		
		不登校		新規不登校			校内支援会検討率		関係機関等支援率		不登校		新規不登校				
		人数	率	人数	率		人数	率	人数	率	人数	率	人数	率			
小学校 (9校)	A小	7	0.99	7	0.99	71	7	100.0	4	57.1	3	0.41	3	0.41	52		
	B小	10	1.48	9	1.33		10	100.0	5	50.0	6	0.88	1	0.15			
	C小	4	0.75	2	0.38		4	100.0	4	100.0	2	0.37	0	0.00			
	E小	4	0.52	2	0.26		4	100.0	4	100.0	4	0.51	1	0.13			
	F小	4	0.86	4	0.86		4	100.0	2	50.0	3	0.61	1	0.20			
	G小	2	0.62	0	0.00		2	100.0	2	100.0	7	2.09	2	0.60			
	H小	9	2.65	1	0.29		9	100.0	9	100.0	8	2.08	1	0.26			
	I小	2	0.67	1	0.33		2	100.0	2	100.0	3	0.98	2	0.65			
	J小	4	0.87	0	0.00		4	100.0	4	100.0	8	1.74	5	1.09			
	高知市以外小計 5校 (EFGIJ)	16	0.69	7	0.30	16	100.0	14	87.5	25	1.05	11	0.46				
	高知市小計 4校 (ABCH)	30	1.33	19	0.84	30	100.0	22	73.3	19	0.81	5	0.21				
中学校 (11校)	A中	20	4.06	6	1.22	71	20	100.0	20	100.0	26	5.46	6	1.26	62		
	B中	25	4.31	5	0.86		4	16.0	14	56.0	25	4.27	5	0.85			
	C中	16	6.13	2	0.77		10	62.5	16	100.0	12	4.36	4	1.45			
	D中	13	4.98	2	0.77		13	100.0	13	100.0	9	3.64	2	0.81			
	E中	21	5.11	3	0.73		21	100.0	21	100.0	18	4.51	2	0.50			
	F中	18	5.23	4	1.16		18	100.0	14	77.8	17	4.76	7	1.96			
	G中	35	6.42	10	1.83		35	100.0	35	100.0	29	5.32	5	0.92			
	H中	39	8.14	15	3.13		39	100.0	39	100.0	20	4.19	1	0.21			
	I中	40	7.68	16	3.07		40	100.0	40	100.0	23	4.60	6	1.20			
	J中	22	7.97	4	1.45	22	100.0	22	100.0	20	6.33	7	2.22				
	K中	20	5.24	7	1.83	20	100.0	20	100.0	12	3.48	2	0.58				
高知市以外中計 5校 (ABCDK)	94	4.75	22	1.11	67	71.3	83	88.3	84	4.36	19	0.99					
高知市中計 6校 (EFGHIJ)	175	6.79	52	2.02	175	100.0	171	97.7	127	4.90	28	1.08					
小中計	高知市以外 小中計	110	2.56	29	0.68	83	75.5	97	88.2	109	2.53	30	0.70				
	高知市小中計	205	4.24	71	1.47	205	100.0	193	94.1	146	2.96	33	0.67				

2 現状について

- ① 昨年度と出席日数が大きく異なるため、純粋な比較はできないが、その中でも昨年度に比べ、不登校出現率を低く抑えている学校がある。
- ② 小学校に比べ、中学校の方が不登校出現率、新規発生率が高い状況が見られる。
- ③ 特に、校区に多くの小学校がある中学校の方が不登校出現率が高い状況が見られる。

校内適応指導教室

不登校や教室に入りづらい児童生徒に対する支援の場の拡充や、個に応じた多様な支援の充実を図ることで、不登校等の児童生徒の学校や社会とのつながりを確保するとともに、学校復帰、社会的自立を実現する不登校支援を推進する。

校内適応指導教室における支援

- ▶ 校内の空き教室を利用し、児童生徒の状況に応じた支援の実施
 - ・児童生徒の状況に応じた個別最適な学びを進めることができる
 - ・SCや担任等と相談できる
 - ・疲れたとき、休み時間に入室できる

<取組例>

- ・教室の時間割が決められ、担当する教員が教室に来て指導

1. 学校の自立支援体制の強化

◇校内適応指導教室モデル校の設置 (R3 : 4校)

- ・支援の対象を不登校傾向の児童生徒にまで拡充
- ・遠隔授業、タブレット等を活用した学習支援の実践研究
- ・教室復帰に向けてより柔軟な対応が可能
- ・教室運営等コーディネートする教員の配置
- ・校区内等の児童生徒の柔軟な受け入れ

各教育事務所管内、及び高知市にそれぞれ1校

2. 教育支援センターの支援強化

◇教育支援センターにおける支援の充実

- ・支援を必要とする児童生徒への学習機会の保障と一人一人の心理状態や学習進度に応じた学習支援
- ・ICTを活用した学習支援の実施
- ・支援員の資質向上に向けた研修会等の実施



	R2年	R3年	R4年	R5年
校内適応指導教室設置校(計画)	1校	4校	8校	11校

学習支援プラットフォーム「きもちメーター」

学習支援プラットフォーム「きもちメーター」は、児童生徒の気持ちを顔文字で可視化するデジタルツール。様子が気になる児童生徒や、兆しの見えている児童生徒に対して、毎日の気持ちの変化をもとにして早期発見し、対象となる児童生徒への指導・支援につなげる。

児童生徒の“気持ち”に“気づく”

児童生徒が登校後に、今日の気持ちを絵文字から選択して送信すると、教員の確認画面で回答を把握することができます。きもちメーターの回答と実際の様子を重ねることで、心の支援につながります。

利用方法



②ログイン後、自動的に入力画面が開くので、気持ちアイコンとその理由(任意)を入力します。



③確認画面で個人の気持ちの変化が確認できます。確認画面は担任以外にも管理職・養護教諭等とも共有することができるため、組織的な支援につながります。